

新春とはいえ厳しい寒さとコロナ感染拡大により、景気の上昇とはなかなかいかない状況が続いています。

一日も早く、感染の減少につながるワクチンの開発や接種が進むことを祈る毎日です。

今回は、テニスクラブの創業者と二代目のお話です。

「父と夢」

テニスクラブの創業者たちの思いを、二代目たちが聞いて答えるという企画がありました。創業者からは、

「もっと熱心に仕事をして欲しい」とか、

「仕事を任せられるように成長して欲しい」

などの要望が多く言われました。それに対して二代目から、

「もっと信頼して仕事を任せて欲しい」とか、

「時代にあっていないので、営業内容を変えたい」

などの反論がありました。

そのとき、討論で熱くなったある創業者が、

「テニスはあまり儲からない。もっと儲かる仕事はたくさんある。本気でこの仕事を継ぎたいのか？」

と言いました。一瞬の沈黙の後、いつもは無口なある二代目が、

「私は小さい頃から毎日、一生懸命にテニスコートを整備する父の姿を見ていました。お客さんと楽しそうに話す父の姿を見て、父と一緒に仕事をするのが夢だったんです」

と涙を流しながら訴えていました。

子どもが小さな頃から、親が本当に楽しそうに仕事をして

いたら、きっと子どもは親の仕事を継ぎたくならないと思います。反対に仕事から帰ってきて、奥さんや子どもに仕事の愚痴ばかり言っていたら、絶対に子どもは後を継がないと思います。子どもは親の言う通りにはならず、親のする通りになると思います。

自分の子どもに限らず、未来のために、せめて子ども達の前では、明るい大人でいたいですね。

会社でも社長が楽しそうに仕事をしていたら、社員も仕事が好きになります。反対に、

「ほかに良い仕事がないから仕方がないよね」

と社長が言いながら、暗い顔で仕事をしていたらどうでしょうか？

周りの人達も暗くなってしまいます。

親と同じように、社員はトップや上司の影響を受けます。

楽しそうに仕事をしていない人に、仕事を頼まれてもやる気が起ころはありますがありません。

楽しく働いていても、つまらなさそうに働いていても、仕事をする時間は同じです。人生を楽しむためには、

多くの時間を費やす、仕事を楽しむことが必要だと思います。

「小さな幸せに気づく24の物語」より抜粋

株式会社 三悦

代表取締役 樋田 浩三

令和三年一月

